



BATTLE HONOURS



ウォーハンマーを知り、幻想的な世界を体験し、
そしてここだけの報酬を手に入れよう



『戦いの栄誉』へ、 ようこそ

『戦いの栄誉』は、ウォーハンマー世界で最初の一步を踏み出す君のために作られたものだ。

本冊子には、ウォーハンマー・ホビーの五つの重大要素を楽しむためのアクティビティが書き記されている：



集める



作る



塗る



遊ぶ



読む

君の近くにあるウォーハンマーストアの親切なスタッフとともに、ウォーハンマーの知識やスキルを磨くための目標を決めてみよう。そして自分がどこまで進んでいるのか、この冊子を用いて確認しよう。

それぞれのアクティビティを進めていくことで、ウォーハンマーの世界観をより深く学ぶことができる。ミニチュアを作る君の腕前も、ドンドン向上していくはずだ。どれも楽しい遊びばかりだ、さあ初めてみよう！

本冊子の使い方

1

報酬

2

ウォーハンマー40,000

4

ウォーハンマー：エイジ・オブ・シグマー

6

「集める」アクティビティ

8

「作る」アクティビティ

12

「塗る」アクティビティ

16

「遊ぶ」アクティビティ

20

「読む」アクティビティ

24

短編小説の抜粋

28

友人と一緒に

32

ウォーハンマー・アライアンス

33

何か困ったのことがあれば、ストアスタッフに聞いてみよう。また以下のサイトでも、多くのアドバイスを
得ることができるぞ。

[BATTLEHONOURS.WARHAMMER.COM](https://battlehonours.warhammer.com)



本冊子の持ち主:

開始日:

ウォーハンマーストア店舗:

本冊子の使い方

お近くのウォーハンマーストアのスタッフからのサポートやアドバイスを受けながら、本冊子を用いてウォーハンマー世界での目標や冒険を達成したりアクティビティを進めていけば、君は『ウォーハンマー40,000』と『ウォーハンマー:エイジ・オブ・シグマー』について知識を深めていくことができるだろう。

君だけの道を歩め

『戦いの栄誉』はウォーハンマー・ホビーを満遍なく体験できるように作られており、君は自分の思うように冒険を進めていくことができる。

このブックレットが紹介する「集める」「作る」「塗る」「遊ぶ」「読む」は、どれもウォーハンマー・ホビーならではの楽しさにあふれている。各セクションには10個のアクティビティがあり、各アクティビティを達成するとスタンプが1個手に入る。どのセクション、どのアクティビティも、好きなところから始めよう。各セクションをコンプリートすると、素敵な賞品がもらえるよ。

合計30個のスタンプを取得した際には、君は究極の目標に到達し、『戦いの栄誉』をコンプリートしたことになる!

スタンプを30個獲得した後もアクティビティを続けることで、さらなる報酬を手に入れ、大いに楽しむことができるだろう!

はじめに

このページの一番上に、君の名前、開始日、訪れているウォーハンマーストア店舗を記入しよう。

ここにストアスタッフにスタンプを押してもらうのを忘れないでここう、もちろん他のアクティビティのスタンプもだ!



報酬

ウォーハンマー世界について学んだり、ミニチュアをペイントしたり、友人と白熱したゲームを遊んだりといったあらゆる成果は賞賛されるべきだ。

特別な報酬を獲得してみんなに自慢しよう！



集める

ウォーハンマーのコレクションはどれも特別でユニークなものだ。個々のミニチュアを集めて飾ったりすることも、アーミーを集めてゲームに用いることもできる。

「集める」アクティビティを達成して、ピンバッジを手に入れよう。



8ページ



作る

ウォーハンマー・ホビーは世界でも最高水準のミニチュアを取り揃えている。ランナーに付いた灰色のプラスチック部品から壮麗なるミニチュアを作り上げて、飾ったり塗ったり遊んだりするための準備を整えるのだ。

「作る」アクティビティを達成して、スペアパーツを保管するためのビッツボックスを手に入れよう。



12ページ



塗る

多くのウォーハンマー・ファンにとって、ペイントはこのホビーの最も楽しい側面のひとつだ。ミニチュアを飾ったり、ゲームに使ったり、娯楽としてリラックスしたりと、ペイントはさまざまな形で喜びをもたらしてくれる。

「塗る」アクティビティを達成して、筆を傷つけないように保管できる筆ケースを手に入れよう。



ブラシは付属されていません

16ページ

遊ぶ

手に汗を握る熱戦をプレイするために、ミニチュアを用いてみよう。自宅で友人と小規模なバトルを遊ぶことも、大規模なゲームイベントで世界中の人々とゲームすることも、一生をかけて極められるゲームが君を待っている。

「遊ぶ」アクティビティを達成して、ウォーハンマーをテーマにしたダイスセットを手に入れよう。



20ページ

読む

すべてのミニチュアと戦いには、物語がある！

最新のミニチュアについてコデックスやバトルトームから情報を得たり、新しいブラックライブラリーの小説を読んだり、オーディオブックを聞いたり、ウォーハンマーには壮大な物語が満載だ。

「読む」アクティビティを達成して、君が読んでいる本に使用できるしおりを手に入れよう。



24ページ

完結

君の冒険の第一歩は、30個のアクティビティを達成することで完了する。君がこれを達成したあかつきには、偉業を祝して認定証と、ウォーハンマー・コレクションを安全に保管するためのフィギュアケースを君に贈呈しよう！



だがそこで立ち止まる必要はない、アクティビティを続けてスタンプを集めれば、残りの報酬も手に入れることができるぞ。君のウォーハンマーの旅に終わりはない。何故なら新しいミニチュアを集め、作り、塗り、ゲームを遊び、物語を読み、そして友人を作る機会はいくらでも溢れているからだ！



達成日:

WARHAMMER 40,000

暗黒の遠未来に備えよ！人類がまさに生存を賭けて無数の敵と戦う、広大で黙示録的な銀河への入門書へようこそ。

〈帝国〉

幾万もの惑星で、人類は〈黄金の玉座〉に腰掛ける神帝陛下への崇拜によって団結している。だが、あまたある星系の至るところでは戦火が広がっており、銀河における〈帝国〉の支配は揺らいでいる。異種族の戦将たちは、人類を一掃しようとして心に決めた暴徒の群れを率いて押し進む。また叛逆者の戦士たちは〈渾沌の神々〉の恐るべき力を呼び起こす。そして、大きな嵐は現実そのものを穿ち、そこから怪物なるディーモンが何も知らぬ魂を喰らわんと現われる。

この暗黒に立ち向かうのは〈帝国〉の軍勢。無数の隊列と強力な戦闘兵器を有する帝国防衛軍、驚嘆する技術力を持つ帝国技術局、熱狂的な戦闘修道女、そして先頭を行くスペースマリナーたちだ。

スペースマリナー

銀河の恐怖から〈帝国〉を守るべく立ち上がる最初の壁は、精鋭たるスペースマリナーにおいて他にない。遺伝子強化を施された超人的兵士スペースマリナーは、常人よりはるかに強靱で俊敏な肉体、勇敢な精神を兼ね備える。帝国最強の装備で武装したスペースマリナーに、克服できぬ敵はいない。

何百ものスペースマリナー戦団が〈帝国〉のために戦い、それぞれが独自の紋章、戦闘様式、名誉なる遺産を受け継ぐ。戦団の中には、一万年にもわたって人類を守ってきたものもあれば、ますます増え続ける〈帝国〉への脅威と対峙するため新しく創立されたものもある。

ゲーム

ウォーハンマー 40,000 のゲームでは、2人以上のプレイヤーがそれぞれペイントされたミニチュアのアーミーを用意し、卓上で白熱したバトルを繰り広げる。勝利の栄光とスリルのために、敵を出し抜き、ミッションの目標を達成するために戦う。

自分の好みに合わせて、さまざまな方法でゲームをプレイすることができる。たとえば、君の総司令官としての能力が限界まで試される、対戦ゲームを遊ぶことができる。また征戦軍システムを用いて、一連のゲームを通じて独自の物語を楽しむこともできる。

塗装された軍勢が、地形が並ぶ戦場を駆けて行く。そしてプレイヤーたちはダイスを振りながら、そのゲーム体験を仲間や友人と分かち合う。ウォーハンマー 40,000 のゲームで展開される攻防戦、その壮大で圧巻なる光景を目の当たりにすれば、君は必ずや感動を覚えるだろう。



無慈悲な暗黒の遠未来には、 ただ、戦争のみが残された。

ミニチュア

ウォーハンマー 40,000 の出来上がった軍勢は実に素晴らしいものだ。歩兵部隊や幅広いヒーロー、車両、モンスターが並べられた光景は壮観である。自分の好きなミニチュアを選んで、君は軍勢をカスタマイズすることも可能だ。装甲二輪車や航空機を選んで機動性に優れたアーミーを作ることも、重火器を装備した頑強な砲兵部隊を作ることも、強力なチャンピオンたちが何人もいる勢力を作ることも、君の思い通りにアーミーの構成を決めることができる。

ウォーハンマー 40,000 の有名な勢力をペイントで再現することもできれば、自分の想像力をもとに自分だけの軍勢を作ることでもできる。どのような形で勢力を築き上げようとも、ミニチュア・コレクションを作る興奮と刺激は忘れられないものとなり、そして何年にもわたって達成感をもたらしてくれるホビーとなるはずだ。



詳細について

『ウォーハンマー40,000』の背景や、さまざまな陣営の詳細については、以下のウェブサイトをチェック：

WARHAMMER40000.COM



WARHAMMER AGE OF SIGMAR

〈定命の諸領域〉を支配しようと、英雄や神々、怪物が衝突する壮大な舞台、『エイジ・オブ・シグマー』へようこそ。
さあ君は、この幻想的なウォーハンマー・ホビーの世界を旅する覚悟はできているだろうか。

定命の諸領域

八つの世界に分かれし〈定命の諸領域〉。それぞれの領域には強力な怪物、危険な環境、そして長きにわたって隠されてきた秘密が眠っている。何百年にもわたって、これらの大地は、定命の存在の宿敵である〈渾沌の神々〉の支配下で衰退していた。〈渾沌の時代〉は、かつて諸領域を統治していた神王シグマーがいにしへの覇権を取り戻さんと、天空の戦士たちを稲妻の力とともに諸領域へと遣えさせたときに終わりを告げた。

神王に仕えし偉大な闘士ストームキャスト・エターナルは、天空の力を得た不滅の英雄である。ストームキャスト・エターナルは、秩序の大同盟の象徴ともいえる戦士たちであり、定命の存在を脅かす恐怖と対峙する。死をもってしてもこの戦士たちの魂は失われず、倒れればその魂はシグマーの領域アズイルに帰還し、〈再鍛〉を受ける。そして〈再鍛〉を受けた戦士は、ふたたび敵と刃を交えるために戦場へと赴く。

大同盟

〈定命の諸領域〉に住まうさまざまな種族と陣営は、四つからなる大同盟のいずれかに属しており、共通の目標のためにゆるやかに協力している。

秩序の大同盟には、人間やアエルフ、ドゥアーディン、そしてシグマーの強力なチャンピオンであるストームキャスト・エターナルがいる。彼らは〈定命の諸領域〉から渾沌の穢れを一掃し、闇に対抗するために偉大な都市を築かんとしている英雄たちである。

その勢力に対抗するのは、暗黒神を崇拝し、諸領域を我が物とする渾沌の大同盟に属する恐るべき戦士たちだ。そして渾沌の大同盟の力にも比肩する、大死霊術師ナガッシュの意志に従う死の大同盟も存在する。また破壊の大同盟も忘れてはならないだろう。

破壊の大同盟に属する部族たちはまさしく自然の猛威そのものであり、戦いたいからという理由だけで戦っている。

ゲーム

ウォーハンマー：エイジ・オブ・シグマーでは、小規模な戦闘から何百ものミニチュアを用いた大規模な遭遇戦まで、卓上でファンタジーバトルを楽しむことができる。

稲妻の力を纏いしストームキャスト・エターナル、荒々しいオールクやオゴウルの大群、邪悪な吸血鬼によって指揮されるスケルトン、現実空間を越えて現れる恐ろしいデーモン。君は大同盟に属するいくつもの陣営から、お気に入りの勢力を選ぶことができる。

均衡する勢力同士でぶつかり合うバトルや特別に作成されたミッションを用いた対戦、物語を伝えるゲームまで、さまざまな形のゲームをプレイすることができる。また、すべてのミニチュアを卓上に配置して、大規模な戦闘を楽しむこともできる。



これは動乱の時代なり。これは鬭争の年代なり。 これこそが、シグマーの時代なり。

ミニチュア

ウォーハンマー：エイジ・オブ・シグマーに没入する方法は千差万別だが、すべては君が持つミニチュア・コレクションが中心になることは間違いない。娯楽として、あるいは大会に参加するためにミニチュアを集めて、作って、塗る方もいるかもしれない。君は圧倒的な強さを誇る勢力を築き上げ、〈定命の諸領域〉の戦場を支配しようと目論む指揮官であろうか。それとも「栄光への道」を歩み、ゲームで名を轟かせながらアーミーを鍛え上げ、自らの冒険の語り部となるのだろうか。

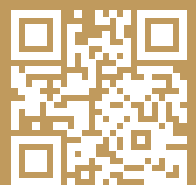
あらゆる側面を余すことなく楽しんだり、独自に作り上げた楽しみ方に没頭することを、ウォーハンマー：エイジ・オブ・シグマーは可能にしてくれる。君の『ウォーハンマー：エイジ・オブ・シグマー』の体験は、果たしてどのようなものになるだろう。どのような体験を選んだとしても、ミニチュア・コレクションを作る興奮と刺激は忘れられないものとなるだろう。何故なら、達成感に満ちたホビーが君を待っているのだから！



詳細について

『ウォーハンマー：エイジ・オブ・シグマー』の背景や、さまざまな陣営の詳細については、以下のウェブサイトをチェックしよう：

AGEOFSIGMAR.COM



集める



君のウォーハンマー・コレクションが始まろうとしている。どのようなコレクションを集めていくのかは君次第だ。お気に入りのミニチュアを選んだり、伝説的な物語を再現したり、強力な軍勢を作り上げたり、選択肢は無限に存在するのだ！

このセクションでは、君のコレクションを開始するために役立つアクティビティについて紹介する。

欲しいもののリスト

欲しいもののリストを作ってみよう

ストアではたくさんのミニチュアから選ぶことができるので、あらかじめお気に入りのリストを作っておくと役立つだろう。

ストアでのアクティビティ

最初のステップは、コレクションの焦点を決めよう。君が好きなゲームや陣営についてストアスタッフに相談して、どのように始めればいいのかを聞いてみよう。

詳細について

公式専門サイトで『ウォーハンマー40,000』や『ウォーハンマー：エイジ・オブ・シグマー』の世界観をさらに知ろう。背景や勢力、物語、さまざまな情報が一杯だ。

WARHAMMER
40,000



WARHAMMER40000.COM

WARHAMMER
AGE OF SIGMAR



AGEOFSIGMAR.COM

陣営を選ぼう

君が選んだ陣営についてもっと知ろう。ストアスタッフにお勧めの本やミニチュアについて聞いてみよう。



戦場の主君 - 1

君が集めたミニチュアを率いるキャラクターを選ぼう。



信頼できる仲間 - 1

5体以上のミニチュアで構成されたユニットを1つ選択して、コレクションを広げ、君の指揮官を守ろう。



援軍 - 1

10体以上のミニチュアで構成されたユニットを1つ選択して、君の軍勢を拡大しよう。



大地を揺るがすもの - 1

強大なモンスターやビークルを君のコレクションに追加して、地響きを立てよ!



戦場 - 1

情景や特殊地形を用いて、君が好きな戦場を作り上げてみよう。



スターターセット

スターターセットにはミニチュアのセット(およびルールなど)が2つ同梱されているため、友人と集め始めるには最適だ。

友人とウォーハンマーの世界を冒険しながらスタンプを獲得する他の方法については、32ページを参照しよう。



振り返り

君のコレクションについて、思ったことを下の空欄に書いてみよう。この陣営を選んだ理由は何だろう？集めたミニチュアの中で一番気に入っているのはどれだろう？



振り返り - 1

君のコレクションもずいぶん増えてきた。ストアスタッフに君が集めてきたコレクションを相談して、次の「集める」アクティビティについて話し合おう。



思い通りに集めてみよう

今後のコレクションについて自分の考えを綴ってみよう。



君のウォーハンマー - 1

君の思い通りにコレクションを拡大していこう！ストアスタッフと相談しながら、君が思い描く「集める」アクティビティを決めて達成してみよう。



セクション達成

君のコレクションが始まった！どのように次の一歩を踏み出すのかは、君が決めることだ。

すべてを征服する軍勢を作り上げることも、新しい同盟者や敵の勢力を集めることも、好きなミニチュアを選ぶことも、それはすべて君次第だ。

「集める」アクティビティをすべてコンプリートした際には、ストアスタッフからバッジをもらおう！



無料のミニチュア

君が興味を持っているのが暗黒の遠未来の物語であろうとも、あるいは定命の諸領域の物語であろうとも、最初のミニチュアはお近くのストアで無料で手に入れることができる。

最初のミニチュアを組み立て、ペイントしてみたいのであれば、ぜひストアスタッフに声をかけるとよいだろう。



今月イチオシのミニチュア

ウォーハンマーストアでは毎月ミニチュアを無料で提供しており、好きな方法で組み立てたり、ペイントしたりすることができる。

今月イチオシのミニチュアについては、お近くの店舗で確認してみよう。



コレクタブルコイン

毎月、お近くのウォーハンマーストアの店舗では、コインを集めることができる。

最新のコインとコインアルバムの入手方法については、ストアスタッフに聞いてみよう。



ヴァンガードとコンバットパトロール

新しいコレクションを始めるには、ヴァンガード・セットとコンバットパトロール・セットが一番だ。それぞれのセットにアーミーが1つ入っており、「集める」セクションのスタンプをいくつか手に入れることができる。

ヴァンガードとコンバットパトロール・セットの商品は、ウォーハンマー・ウェブストアおよび店舗で確認することができるぞ。



[WARHAMMER.COM](https://www.warhammer.com)



作る



たくさんのプラスチック部品を、塗装できるような状態のミニチュアに仕上げることが、ホビーの醍醐味の一つでもある！

このセクションでは、君のミニチュアを組み立てるスキルを学ぶためのアクティビティを紹介する。

道具の安全な使い方

ミニチュアを作るには、ランナーから部品を切り外すための平らな刃面を持つニッパーや、成形工程で残ったプラスチックの小さな部分をきれいに取り除くためのモールドライン・リムーバーなど、さまざまな道具が必要だ。また一部のミニチュアは、作る際に接着剤が必要である。

ニッパーや接着剤、その他のモデリングツールを使用する場合は、危険がないように注意して扱うことが重要だ。取扱説明書をよく読み、安全に関する説明内容と、君がいる国に適用されている法律に従おう。

初めて道具を使う前に、ストアスタッフに実演してもらおう。



組み立ての動画を見る。

『戦いの栄誉』のウェブサイトには、始める際に役立つさまざまな組み立て用の動画がある。その内の1つを見て、ストアスタッフに伝えよう。



BATTLEHONOURS.WARHAMMER.COM



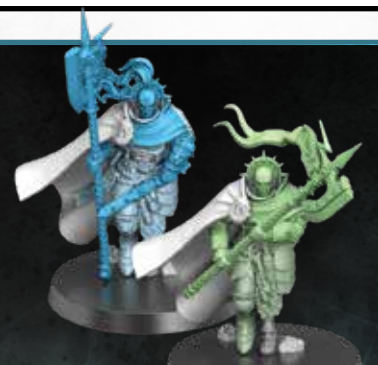
ストアでのアクティビティ

安全第一！ミニチュアを作るのに必要な道具の使い方をストアスタッフに教えてもらおう。



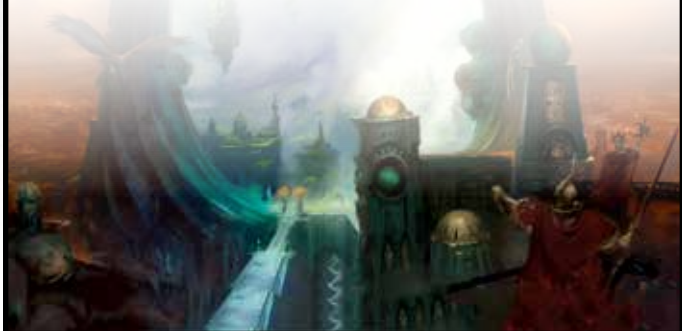
気に入ったポーズで組み立てよう

多くのミニチュアには、別の組み立て方や武器オプション、色々な頭の種類、その他のオプションが用意されている。ミニチュアを作り始める前に、どのように組み立てるのかをまず決めよう。



偉大な技師

プラスチック用のニッパーや、必要に応じて接着剤を使い、最初のミニチュアを組み立ててみよう！



戦場の主君 - 2

組み立ての基本を学んだら、早速実践していこう。君のアーミーを率いる指揮官を組み立て、完成したミニチュアをストアスタッフに見てもらおう。



信頼できる仲間 - 2

作るスキルが成長するにつれて、より簡単にミニチュアを組み立てることができるようになるはずだ。5体以上のミニチュアで構成されたユニットを組み立て、ストアスタッフに見てもらおう。



援軍 - 2

10体以上のミニチュアで構成されたユニットを援軍として迎え入れ、君のアーミーを拡大していこう。



大地を揺るがすもの - 2

一際高くそびえるミニチュアは、君のコレクションの目玉となるはずだ。モンスターまたはビークルのミニチュアを組み立て、ストアスタッフに見てもらおう。



戦場 - 2

敵の攻撃を避けるために、君のミニチュアには遮蔽物が必要だ！選んだ特殊地形または情景を組み立て、ストアスタッフに見てもらおう。



スペアパーツ

多くのウォーハンマーセットには、ミニチュアをカスタマイズするためのオプションパーツが存在する。ホビイストの間では「ビッツ」と呼ばれる、スペアパーツが残るはずだ。

組み立てのスタンプをすべて獲得したならば、ビッツボックスを受け取ることができる。今後ミニチュアを組み立てる際に利用するため、余ったパーツはカスタマイズ用のスペアパーツとしてこの中に保管しておこう。

振り返り

君が作ったミニチュアについて、組み立ての際に選んだオプション、また学んだことを空欄に記入しよう。



振り返り - 2

ストアスタッフに君が作ってきたコレクションや学んだこと、次に組み立ててみたいミニチュアを相談してみよう。



思い通りに作ろう

「作る」アクティビティの内容を選び、次の空欄に記入しよう。別キットのパーツを使用してミニチュアをカスタマイズしたり、複雑なミニチュアを作ったり、あるいは姿形がまったく異なるミニチュアを作ってみるのも楽しいかもしれない!



君のウォーハンマー - 2

ストアスタッフと相談しながら、君が考えた「作る」アクティビティを決めて達成してみよう。



セクション達成

君は組み立て動画に沿ってミニチュアを作っただろうか、あるいは自分の思い通りにミニチュアを作り上げたのだろうか。いずれにせよおめでとう!

君はきっと次に何を作ろうかとドキドキが止まらないはずだ。これで君がコレクションに何を追加しようとも、必ずや問題なく組み立てることができるはずだ!

「作る」アクティビティをすべてコンプリートした際には、ストアスタッフからビッツボックスをもらおう!



コンバージョンとキットバッシュ

パーツを交換したり、他のセットからスペアパーツを追加したり、複数のキットを組み合わせて、多くの方はミニチュアを独自のものにすることがある。これはコンバージョンまたはキットバッシュと呼ばれ、自分のコレクションを特別な作品に仕上げることができる。



ミニチュアケース

ミニチュアを運ぶ際、大事なミニチュアは安全に保管しておきたいものだ。

あらゆる形や大きさのミニチュアを保管できるように特別に設計されたスタイリッシュなキャリーケースを手に入れよう。そしてバトルへと赴く先々で活用しよう。

アームズ・オン・パレード

毎月の目標とともに、一年を通じて自分の軍勢を集めて、作って、塗りあげよう。そして世界中でウォーハンマーを祝うこの日に、出来上がったコレクションをお近くの店舗で展示しよう！



[WARHAMMER-COMMUNITY.COM/ARMIES-ON-PARADE](https://www.warhammer-community.com/armies-on-parade)

塗る



ウォーハンマーのホビーの中でも最も満足を得られることの一つは、まったく塗装されていないミニチュアをペイントし、完成した戦士を作り上げることである。ミニチュアを仕上げることは、君が思っているよりも簡単だ。スプレーまたはベースコートの塗料で始め、ミニチュアを一色ずつペイントしていこう。後で塗りなおすことができるため、ミスは気にしなくて大丈夫だ。このセクションでは、ミニチュアに命を吹き込むためのアクティビティについてご紹介する。

シタデルカラー

シタデルカラーはミニチュア用に設計されている。何百種類ものカラーが存在し、異なる種類に分けられ、それぞれが塗装の用途に合うように特別に配合されているのだ。

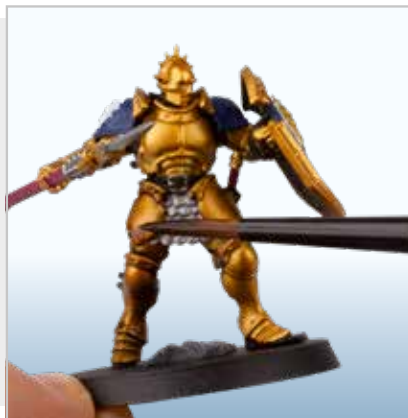


スプレー缶を使用することで、ミニチュアを単色で覆うことができる。これを行なうことによって、塗料がより定着するようになる。

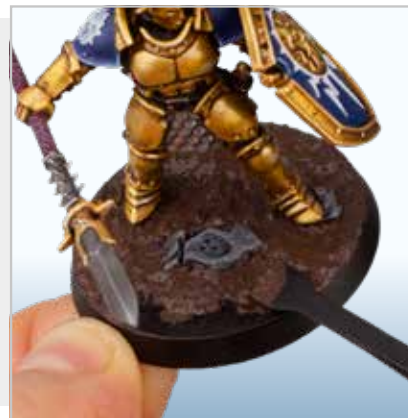


ベースカラーには他のカラーよりも多くの顔料が含まれているため、他のカラーの下地として使用するのに適している。

シェイドカラーはミニチュアの奥まった部分に流れ込み、陰影を作り上げるため、ミニチュアに生彩を添えることができる。



テクニカルカラーは血や粘液、錆び、戦場の荒廃した大地など、さまざまな特殊効果をもたらしてくれるカラーが存在する。



ペイント方法を学ぼう

以下のサイトでペイントを始めてみよう、そしてアイデアを得て、段階的なガイドをもとに塗り方を学ぼう：



[CITADELCOLOUR.COM/GETTING-STARTED](https://www.citadelcolour.com/getting-started)

ストアでのアクティビティ

お近くのウォーハンマーストアでペイントしよう。ストアスタッフに相談しながらミニチュアの配色を決めたり、ペイント方法を教えてもらおう。

配色

君が集めているコレクションのカラースキームを選ぼう。見たことがある配色を選ぶことも、見たこともない配色を選んで構わない。



戦場の主君 - 3

選択した配色でキャラクターをペイントしていこう。それは必ずやスタイリッシュなものになるはずだ。



信頼できる仲間 - 3

まとめ塗りは、一度に多くのミニチュアをペイントするのに最適な方法だ。興味がある方はストアスタッフに聞いてみよう。役立つヒントをしてくれるはずだ。5体以上のミニチュアで構成されたユニットをペイントし、ストアスタッフに見てもらおう。



援軍 - 3

ユニットのペイント方法を学んだら、次は10体で構成されたユニットを塗装し、アーマーを増強しよう！



大地を揺るがすもの - 2

モンスターまたはキャラクターをペイントしてみよう。スケールが大きくなっただけで、ペイント方法は一緒だ。困ったり、悩んだ場合はストアスタッフに声をかけてみよう。



戦場 - 3

特殊地形や情景をペイントする際には、異なる配色やドライブラシのような新しいテクニックを使ってみよう。



ペイント・スターターセット

ペイントを始めるために必要な塗料と筆が同梱されており、スターターキットは端緒を開くホビー・ツールキットになってくれるだろう。いくつかのセットがあるため、自分に一番合ったものを選ぶことができる。



振り返り

君がペイントしたミニチュア、選んだ色、ペイントに使用したテクニック、また学んだことを空欄に記入しよう。配色を選んだきっかけは何だろう？配色で一番気に入っている部分はどこだろう？



振り返り- 3

ストアスタッフに君がペイントしてきたコレクションや学んだこと、次にペイントしてみたいミニチュアを相談してみよう。



思い通りに塗ろう

カラーには「コントラスト」「ドライ」「レイヤー」といった他の種類がある。そうしたカラーのうちいくつかを試してみたり、違う色のカラーを試してみたり、新しいペイントのテクニックを試してみよう！選んだアクティビティの内容を空欄に記入しよう。



君のウォーハンマー - 3

ストアスタッフと相談しながら、君の「塗る」アクティビティを決めて達成してみよう。



[CITADELCOLOUR.COM/THE-PAINT-RANGE/](https://www.citadelcolour.com/the-paint-range/)

セクション達成

ペイントの腕前が上達してきた君！どのようにして、さらに腕を磨くかは君にかかっている。

シタデル・カラーのウェブサイトには、興味深い配色や高度なテクニックを紹介する動画が豊富に用意されている。これは、スキルを向上させるのに最適な方法だ。

「塗る」アクティビティをすべてコンプリートした際には、ストアスタッフから筆ケースをもらおう！



ピック&ミックス・ペイントセット

シタデルカラーから購入希望のペイントを10個選択し、そのうちの1つを無料で手に入れよう。これはウォーハンマーストア限定のサービスだ！

独自のペイントセットを作りたい方は、ストアスタッフにぜひ尋ねてみよう。



筆

スターターブラシを用いてミニチュアの細部のほとんどをペイントできるが、特別な筆を使用して、新しい方法を試したい場合もあるだろう。

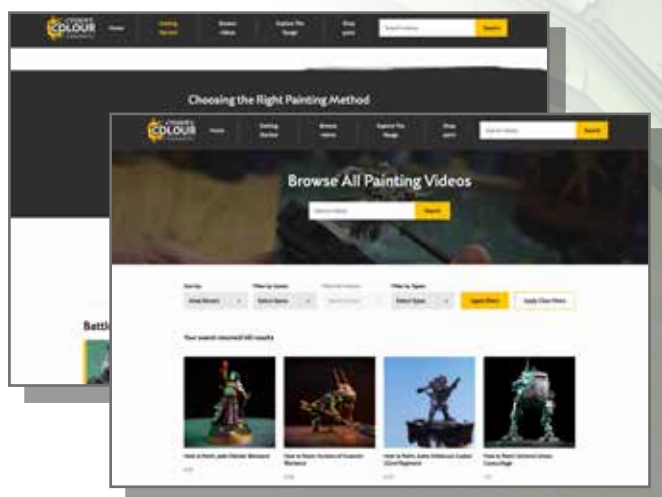
シタデルブラシの幅広い種類とその用途については、ストアスタッフに聞いてみよう。

ペイントガイドの動画

シタデルカラーのウェブサイトには、何百ものペイントガイドの動画が公開されており、毎週新しい動画が追加されている。さまざまなミニチュア、配色、テクニックが紹介されているぞ。

以下のサイトで動画をチェックしよう：

CITADELCOLOUR.COM



遊ぶ



ウォーハンマーのゲームは楽しく社交的な活動であり、ペイントしたミニチュアを用いて速いペースの戦略的なバトルを遊ぶことができる。

早速ダイスを振って、このセクションのアクティビティを駆け抜けていこう！

プレイ形式

『ウォーハンマー：エイジ・オブ・シグマー』と『ウォーハンマー40,000』は、さまざまな方法で遊ぶことができる。

クイックスタート

自分が持っているミニチュアを用いて、すぐにゲームを開始できる。対戦相手と使用するミニチュアを話し合ってから、ミニチュアを卓上に置いてダイスを振ろう！

ヴァンガード & コンバットパトロール

『ウォーハンマー：エイジ・オブ・シグマー』のヴァンガード・セット、『ウォーハンマー40,000』のコンバットパトロール・セットには、小規模で白熱したゲームを展開させてくれる勢力のミニチュアが入っている。

ナラティブプレイ

ナラティブゲームでは物語を伝えたり、『栄光への道』や『クルセイド』のキャンペーンの一部として遊ぶこともできる。またナラティブゲームでは、将来のバトルに引き継がれる報酬を手に入れる要素があり、自分が操作するアーミーはゲームごとに成長していく。

マッチプレイ

アーミーとシナリオを選ぶ上で、マッチプレイには明確なルールが設定されている。これは、両勢力の均衡を保つためだ。バランスが取れた対戦ゲームで勝利を得るためには、練りに練った作戦や賢明な判断が必要となる。

プレイ方法の動画を視聴する

『戦いの栄誉』のウェブサイトに公開されているプレイ方法の動画で、君が選んだゲームの基本を確認してみよう。



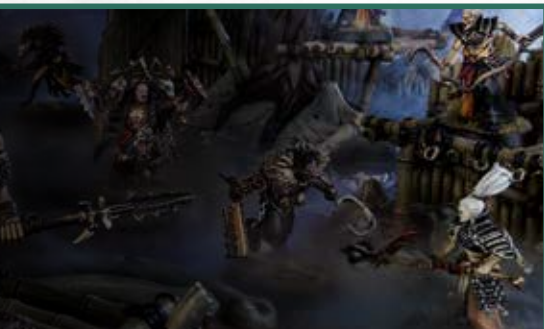
[BATTLEHONOURS.WARHAMMER.COM](https://battlehonours.warhammer.com)

ストアでのアクティビティ

初めてのゲームをプレイしてみよう！
ルールで分からないことがあれば、ストアスタッフに聞いてみよう。

ゲーム規模

『ウォーハンマー：エイジ・オブ・シグマー』や『ウォーハンマー40,000』のゲームでは、いくつかのユニットを用いた小規模のバトルから、数百体のミニチュアを用いた大規模なバトルまで、あらゆる規模の戦闘をプレイできる。



アーミーの召集

コレクションした強大な勢力をゲームに用いることができる。ストアスタッフに相談して、初めてのアーミーリストを作ってみよう。



戦場の主君 - 4

君のキャラクターは、軍勢を戦いへと導く準備が整ったようだ。キャラクターを用いてゲームをプレイしてみよう。



信頼できる仲間 - 4

キャラクターには率いる軍勢が必要だ! リーダーとその仲間を用いてゲームをプレイしてみよう。



援軍 - 4

ゲームの規模を大きくする時が来た。キャラクターとその仲間、そして少なくとも10体以上のミニチュアを使ってゲームをプレイしよう。



大地を揺るがすもの - 4

ゲームに新しい、大きな要素を追加してみよう! モンスターまたはビークルを用いてゲームをプレイしよう。



戦場 - 4

卓上に情景や特殊地形を追加しよう。そしてこれまでに集めてきた、組み立ててきた、ペイントしてきたすべてのコレクションを用いてゲームを遊ぼう。



箱の中の軍勢

スターターセットやコンバットパトロール、ヴァンガード・セットは、新しいアーミーを試すのに最適だ。これらのセットには、卓上に並べ、均衡したマッチプレイをすぐに遊べるミニチュアが同梱されている。



振り返り

君が遊んだゲームの内容、上手くいった作戦や上手くいかなかったこと、また学んだことを空欄に記入しよう。大活躍したユニットはどれだろうか？次にどのユニットを追加してアーミーを強くしたいだろうか？



振り返り - 4

ストアスタッフに声を掛けて、君がプレイしてきたゲームやその勝敗から学んだことについて、話し合おう。



思い通りに遊んでみよう

プレイ方法は本当にさまざま。シナリオを遊んでみたり、ナラティブプレイの軍勢を始めてみたり、イベントに参加したり、あるいはまったく遊んだことのないプレイ方法を体験してみるのも良いかもしれない。選んだ「遊ぶ」アクティビティの内容を空欄に記入しよう。



君のウォーハンマー - 4

ストアスタッフと相談しながら、君の「遊ぶ」アクティビティを決めて達成してみよう。



セクション達成

勿論、ゲームをプレイすることはとても楽しい。しかし、それだけではない。新しい出会いや人生の友人、もしかしたら友好的なライバルだって現われるかもしれない。

さまざまな遊び方、そして色々な種類のゲーム、ダイスを振って楽しむ機会は無数にあることを忘れないでほしい。

「遊ぶ」アクティビティをすべてコンプリートした際には、ストアスタッフからダイスをもらおう！出目6の祝福があらんことを！



キルチーム

遠未来の暗黒の中で、精鋭戦士の小隊が衝突する。その極秘任務は銀河の運命をも揺るがさん。類い稀な兵器を装備したキルチームを編成し、血潮の戦いを繰り広げる。

WARHAMMER40000.COM/KILL-TEAM



ウォーハンマー・アンダーワールド

『ウォーハンマー・アンダーワールド』は展開が速い、アクション満載のボードゲームだ。〈定命の諸領域〉の昏い片隅で、ウォーバンドたちは栄光を求めて戦い続ける。辣腕を振るう英雄や下卑た悪党どものウォーバンドを率いて、戦いに参加せよ！

アンダーワールドのゲームやウォーバンドについては、以下のウェブサイトをチェック：

WARHAMMERUNDERWORLDS.COM



ウォーハンマー・クエスト：呪われし街

呪われし街ウルフェンカーン、手に汗握る協力型ボードゲームを体感せよ。生ける屍に反撃する時は今だ！

AGEOSIGMAR.COM/GAMES/CURSED-CITY



ウォークライ

君だけのウォーバンドを編成し、〈定命の諸領域〉の未開の大地で、戦術的な小規模バトルのゲームを繰り広げる！栄光のために、伝説的な遺物を手に入れるために、あるいは戦いの喜びを味わうがために戦え。いくつものウォーバンドと詳細なキャンペーンシステムで、君だけの物語を綴れ。

AGEOSIGMAR.COM/GAMES/WARCRY



読む



ウォーハンマーにはアクションや武勇、狡猾さ、勇気に満ち溢れた物語がたくさんある！

このセクションでは、シグマーの時代と第41千年紀の物語を探求するアクティビティをご紹介します。

読もう

『ウォーハンマー：エイジ・オブ・シグマー』と『ウォーハンマー40,000』については、さまざまな方法で読むことができます。

オンライン

ウォーハンマーコミュニティのウェブサイトは、有益な記事や仲間のホビイストが塗ったミニチュア、そして近日発売されるウォーハンマー商品の最新ニュースを配信している。



[WARHAMMER-COMMUNITY.COM](https://www.warhammer-community.com)

ホワイトドwarf

毎月発売されている『ホワイトドwarf』では、ゲームデザイナーの洞察や遊ぶ際に試すことができる新しいルール、見事にペイントされたミニチュアの写真など、他では見られないコンテンツが紹介されている。

書籍

ブラックライブラリーは、ウォーハンマー世界の物語を描く、ありとあらゆる小説や短編を出版している。そして忘れてはならないのは、コデックスやバトルトームの本にはルールだけでなく、陣営に関する豊富な情報が詰まっているということだ。

本の抜粋を読む

短編小説の抜粋を読んで、初めての冒険を体験しよう。

28と30ページの抜粋を読んでみよう。



ストアでのアクティビティ

興味のある読み物をストアスタッフに伝え、どのウォーハンマーの本が君に合っているのか相談してみよう。



電子書籍

ペーパーバックやハードバックの本だけでなく、ウォーハンマーには膨大な数の電子書籍がある。幾つもの陣営の物語や、ゾッとするような恐怖と悪事の物語、そしてすべてのウォーハンマー・ゲームの世界を舞台にした冒険が網羅されている。君の興味が何であれ、電子書籍には必ずや君が求めている本があるはずだ。

[BLACKLIBRARY.COM](https://www.blacklibrary.com)



伝承修得者

君が選んだ陣営の背景について読んでみよう。陣営の歴史や戦いを読んで、印象に残ったり、気に入った内容をストアスタッフに伝えてみよう。



戦場の主君

ウォーハンマー世界の君が大好きなキャラクターについて読み、ストアスタッフに感動した内容を伝えよう。



コミュニティに参加しよう

最新のニュースや記事については、ウォーハンマーコミュニティの公式サイトをチェックしよう。



ホワイトドwarf

ホワイトドwarfを読んで、君の好きな記事についてストアスタッフと一緒に話し合おう。



ブラックライブラリーへの一歩

君のお近くの店舗で入手できる、小説または短編小説を1つ読んでみよう。



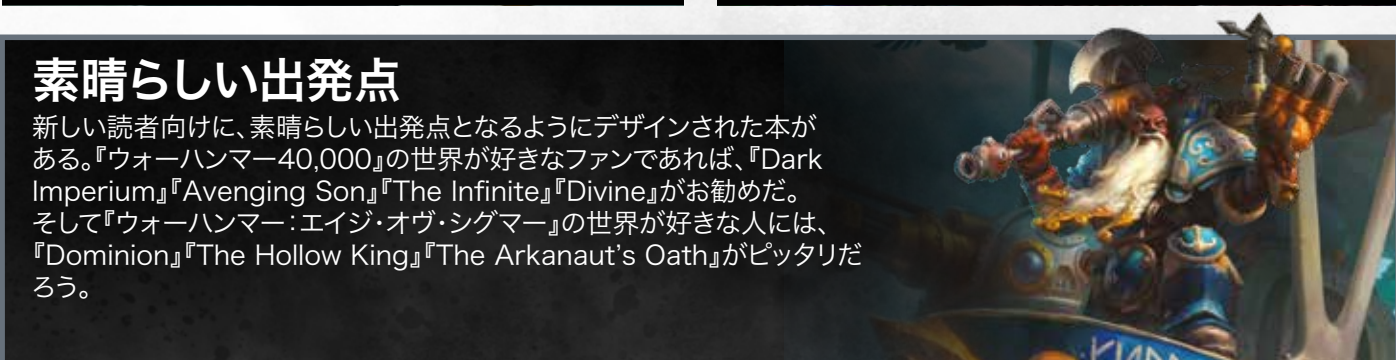
前線からの派遣

キャンペーンブックやルールブック、コードックス、バトルトームを読んで、ウォーハンマー世界の最新の出来事を追ってみよう。



素晴らしい出発点

新しい読者向けに、素晴らしい出発点となるようにデザインされた本がある。『ウォーハンマー40,000』の世界が好きなファンであれば、『Dark Imperium』『Avenging Son』『The Infinite』『Divine』がお勧めだ。そして『ウォーハンマー:エイジ・オブ・シグマー』の世界が好きな人には、『Dominion』『The Hollow King』『The Arkanaut's Oath』がピッタリだろう。



思い返す

君が読んだ作品について、心に残ったことや次読んでみたい本を空欄に記入しよう。君の陣営の背景で最も好きな部分はどこだろう？一番影響を受けた設定は何だろう？



振り返り - 5

読んだ作品の中で最も楽しかったことについて、ストアスタッフと話し合おう。



思い通りに読んでみよう

「読む」アクティビティを選ぼう。ウォーハンマーの世界を書き記した本はたくさん存在する。選んだ「読む」アクティビティの内容を空欄に記入しよう。



君のウォーハンマー - 5

ストアスタッフと相談しながら、君の「読む」アクティビティを決めて達成してみよう。



セクション達成

ウォーハンマー世界の背景に触れることで、その世界観にさらに魅了されるだろう。そして読んで得た知識は、ミニチュアやゲームの楽しさをさらに高めてくれるはずだ。

「読む」アクティビティをすべてコンプリートした際には、ストアスタッフからバッジをもらおう！頑張った君のものだ！



ブラックライブラリー

ブラックライブラリーは、「41千年紀」と「定命の諸領域」を舞台にした小説や短編小説を出版している。名を轟かせるような戦いの話から、忌々しい暗黒や不吉な悪行の数々まで、好きでたまらない君だけの本を見つけることができるだろう。



BLACKLIBRARY.COM



オーディオブック

読むことよりも聴くことを好むなら、オーディオブックやオーディオドラマとして、膨大な種類のウォーハンマーの小説を聴くことができる。オーディオブックは、熟練した俳優が読み語る完全な小説である。またオーディオドラマは、物語に浸るための情緒的な音楽と音響効果を備えた演劇たる本に仕上がっている。



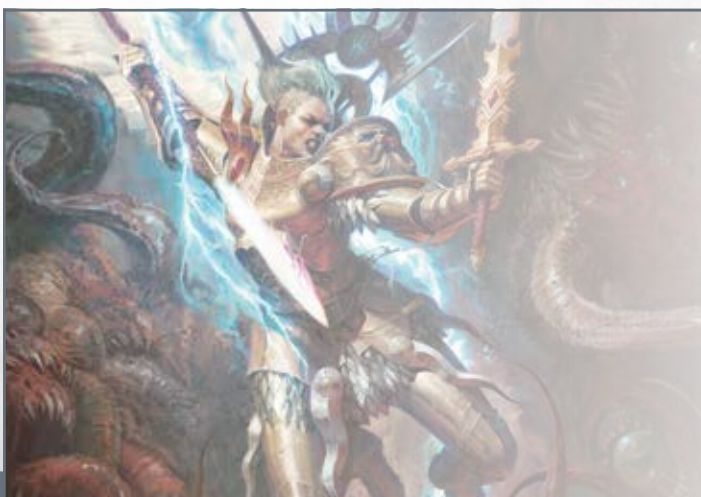
ホルスの大逆

ホルスの大逆は帝国初期を舞台にした、人類を分断する大きな内戦の物語である。皇帝の超人たる子であった総主長たちの半数が謀反を起こし、銀河全体に戦争を仕掛ける話になっている。このニューヨーク・タイムズのベストセラー・シリーズは、小説や短編小説、オーディオブックなどで発売されており、兄弟同士が戦う痛ましい物語が綴られている。



さらなる探求

壮大な世界観とともに描かれるウォーハンマーには、いまだ解き明かされていない深淵なる秘密や、進行中の物語さえも存在する。そして、これらの物語はルールブックやコデックス、バトルトーム、キャンペーンブックでつまびらかになっていく。これらの本にはゲームを遊ぶためのルールだけでなく、『ウォーハンマー:エイジ・オブ・シグマー』と『ウォーハンマー40,000』に登場する秀逸な英雄や悪役たちの細部にまで至る背景、その魅力的な物語が書き記されている。



闇来たる

エイジマンのストームボルターが、這い寄ってきたターマガントをばらばらに引き裂いた。(海の水を一滴だけ減らしたようなものだ) ウルトラマリーネ第一中隊長はそっと思った。オブシディアは薄暗い星で、土着の木々の中には数百ものウォリアー個体が見え隠れしていた。奴らは互いに折り重なるように殺到し、対峙するウルトラマリーネに牙を立て、引き裂こうとしている。ティラニッドは枝の上にまでびっしりと取りつき、その重量で根こそぎ倒れる木もあった。その上にさらなるティラニッドが押し寄せ、そこに木があったこともわからなくなる。

敵の勢いは圧倒的だったが、エイジマンと部下たちは規律を失わず、秩序立った撤退戦を遂行していた。生体弾に撃ち抜かれ、鉤爪に貫通されて、倒れる味方が出はじめている。しかし彼らは激しい火力で応戦しつつ、速度を上げながら脱出地点へと向かっていた。エイジマンは部下たちの冷戦沈着な闘いぶり

を誇りに思った。全員の射撃が正確無比で、慌てる者も足を滑らせる者も一人もない。彼らの側面へ回り込もうと移動するティラニッドもいたが、戦士たちは目ざとくそれを見つけては、フレイマーの炎とボルト弾を集中させて手早く片付けた。ティラニッドのウォリアー個体は自分の死を避けようとさえせず、生きた雪崩のようにひたすらに押し寄せたが、戦士たちは冷静さを失わなかった。

「この場のティラニッドは攻撃性が通常より高いです」エイジマンのヘルメット内に、医術官タイヴスの声が聞こえた。

エイジマンはさらに数体のターマガントを撃ち殺し、視線を一瞬動かして戦略表示を見て取ってから返信した。

「サンプル 17 号の重要性にまつわる君の仮説はどうやら正しかったようだな」

「我々が統御個体の脳組織を保有していることが奴らを刺激しています」というタイヴスの声には苦笑いが混じっていた。「どうやら奴らの最優先攻撃目標は

私のですから」

その言葉が正しいことはエイジマンにも分かった。今タイヴスが戦っている位置はウルトラマリーネの陣形の中央で、周囲の同胞たちの存在は彼を守るセラマイトの城壁のようなものだった。にもかかわらず、タイヴスの装甲は傷と返り血まみれとなっている。あらゆるティラニッドが、他の相手など目に入らぬかのようにタイヴスを撃ち、あるいは飛びかかっていた。

「敵の攻撃は一点集中となるあまりに合理性を欠いている」エイジマンはさらに撃ち続けながらそう言った。残弾が少ないことを示す警告音がヘルメット内に静かに響く。「撃たれることを避けようとさえしない。奴らにとって、君以外の我々は敵というよりも障害物なのだ」

「私の苦難によって戦術的有利がもたらされるわけですね」タイヴスは飛びかかる怪物の頭を吹き飛ばすために一瞬言葉を切り、話し続けた。「第一中隊長の美德は、物事を常に良い面から見ようとすることですよ」

「よく言われるよ」エイジマンは真面目くさってそう答え、弾薬補給ルーンを押した。機械化髑髏が素早く飛び寄って来て、彼の銃から空の弾倉を抜き取り、新しいものを叩き込む。「サンプルを死守してくれ、我々は君を死守する。脱出まで三分だ」

「勇気と名誉にかけて」とタイヴスは応え、エイジマンも同じ言葉を返した。彼はさらに撃ち続け、その銃火の眩しさはヘルメットの光度調節機能を作動させるほどだった。

彼の周囲ではデシウス分隊の滅殺者たちが歩調を揃えて後退しつつ、リズムカルな射撃を続けていた。追補官ヴァリウスがそれに随行しており、彼の装甲服を彩る加護のルーンは激しく瞬いていた。彼は非常に精神集中に眉根を寄せ、サイキックの衝撃波を放ったが、それを〈歪み〉の翳りの中で成し遂げるのは偉業としか言えなかった。ティラニッドたちは目に見えぬ破城槌に打たれたかのようにひしゃげて吹き飛んだ。

「デシウス分隊、攻撃パターン、アジャックス=メテオルス。ウルアクシズ分



隊は火力支援」とエイジマンは指示を出した。

滅殺者たちは射撃目標を変え、周囲のティラニッドを狙った。エイジマンは敵がこちらを包囲する動きを見せたことに気付いたのだ。ウルクシズ分隊のインフェルヌス・マリーンが前進し、ターミネーターの間に並ぶとパイアブラスタを構える。一瞬の後、燃え上がるプロメチウムが迸った。医術官タイヴスに迫ることをのみを目的とするティラニッドはまっすぐにその炎に突っ込み、数十体が即座に焼け死んだ。エイジマンは異種族の肉が燃える音、キチン質の生体装甲が熱で爆ぜる音を聞いた。そいつらは断末魔の悲鳴を上げたが、それは奇妙に平板に聞こえた。まるで、それはただの反射的な発声であり、実際の苦痛など一切存在しないかのようだった。

火焰放射を終えたウルクシズ分隊がなめらかに後退する。部隊のすべての動きが、精密な歯車のような動きだった。再び、エイジマンは部下の戦闘同胞たちの優秀さを心中で賞賛した。

「射撃しつつ後退を続けろ！ 脱出地点まで百ヤードを切った。“マクラグの鷹”は最終降下体制に入っている。離脱に備えろ！」

エイジマンは激しく連射されるミサイルの発射音を聞き取った。左手に目をやると、ドレッドノート、同胞ジュリアノスが敵の群れにフラッグ弾頭弾を打ち込んでいた。ミサイルは木々の間で爆発し、ティラニッドの体液と木々の破片が空中に高く舞上がった。

「奴ら、こちらに回り込んできたんです」と、バリストウス型ドレッドノートから通信が入った。「炎を避けようとしたらしい。歓迎してやりましたよ。どれほど奴らを殺そうと、マクラグの復讐には足りませんが」

「まったくだ。我々は——」と言いかけたエイジマンの言葉は激しく遮られた。突き刺すような絶叫が突如として降り、それはあまりに高音の大音響となつて、エイジマンはヘルメットのバイザーが割れるのではないかと一瞬危惧した。しかしそれは持ち堪え、輝くバイオプラズマを映し出したが、その光度は木々の中で新星が爆発したのかと思えるほどだった。それに照らされる聳え立つ怪物の姿があった。その生体電気の中で、危険に満ちたバイオプラズマが集束してゆく。

「スクリーマーキラー！」滅殺軍曹デシウスが叫んだ。スペースマリーンたちはカーニフェックスに一斉に銃を向けたが、それでも遅過ぎた。空気が弾ける鞭のような音がしてバイオプラズマが解き放たれ、輝く光球は薄闇の林を薙ぎ払い、ドレッドノート、同胞ジュリアノスの装甲棺室に正面から直撃した。プラスチックとセラマイトが溶解し、破損した動力機構からバチバチと火花が飛んだ。ほとんど真っ黒の煙が濃く立ちのぼり、ドレッドノートはよろめくと、傍らの木に肩から倒れかかった。

「ジュリアノス！ 無事か!？」エイジマンは叫んだが、通信機からはノイズしか返ってこなかった。大地が震えた。ティラニッドのカーニフェックスの中でも最も忌み嫌われる上位種、スクリーマーキラーが、まっすぐに突っ込んできた。この生きた攻城兵器が一直線にタイヴスを目指しているのを知ったとき、エイジマンの心に暗く固い決意が生まれた。スクリーマーキラーにはデシウス分隊の滅殺者たちを蹴散らし、彼の部隊の心臓部まで辿り着くだけの力があることを、彼はまったく疑っていなかった。それだけはなんとしても食い止めねばならない。

歯をギシッと噛み鳴らし、第一中隊長は怒りの聖句を唱えてパワーソードの機械精霊を起動すると、自ら踏み出して突進する怪物の正面に立ち塞がった。

しかしカーニフェックスが彼の場所まで辿り着くよりも速く、二条のレーザーが闇を裂いた。それが触れた木々はすべて焼き切れ、燃え上がりながらティラニッドの群れに倒れかかった。レーザーは双方ともがカーニフェックスの側頭部に命中し、反対から抜けた。刹那の一瞬、エイジマンはカーニフェックスの突き刺すような瞳が内から赤く輝き、そして炎を吹き出すのを見たと見えた。

突進するスクリーマーキラーの足がもつれ、巨体はそのまま前方に倒れ込むと、慣性で滑って地に深い溝を残した。

「私は……無事です……、同胞中隊長……」。合成音声でありながら苦痛に満ちたその声は、ドレッドノートからの送信だった。ラスキャンンの銃口はいまだ赤熱していた。

「喜びと感謝を捧げるよ。実に見事な射撃だった、ジュリアノス」エイジマンは心から言った。「脱出地点まで後退してくれ。君のダメージは深刻だ。我々は君自身も、君の深い知恵も失いたくない」

「了……解……」ジュリアノスは雑音交じりに返信した。暗い林の中に、わずかに周囲よりも明るく陽だまりとなっている部分があり、彼はそちらに向けて後退したが、その一步一步がひっかかるような作動音を立てていた。他のウルトラマリーンもそれに続いた。彼らは医術官を中央に置き、それを囲むようにしながら銃を撃ち続けた。同胞カラストウスが、ヘルメットのバイザーの中央にフレッシュボウラーの貫通弾を受けてどざりと倒れたのと、彼らが陽だまりに辿りついたのはほぼ同時だった。最後の二人は滅殺者たるアグリスタとパラトウスだったが、そのほんの数歩後ろの闇から、口の中に牙と触手をぎっしり詰めた巨体が現れて襲いかかった。全ウルトラマリーンからの射撃がこの怪物を蒸発させているあいだに、上空から強い風が吹き寄せ、梢を大きく揺らしながら“マクラグの鷹”が姿を見せた。

「ガンシップ、離脱準備完了。サンプル 17 号を確保した」

「了解。降下します。閣下、先程フォーミダイア星系より緊急通信がありました。太陽卿レオントウス様が、すべてのソルブレイドに即時の召集をかけられました」

ガンシップは機首の火砲を放ちつつ轟音と共に着陸した。この危険な任務から部下の大半を無事に帰還させたことを喜びつつも、第一中隊長エイジマンの心はたった今聞いた知らせによって乱されていた。押し寄せ続ける敵を撃ちながらタラップを登りつつ、彼はこの知らせの意味について考えを巡らせた。

タラップが閉じ、殺到するティラニッドを遮断した。ガンシップのエンジンが轟音を上げ、機体は揺れながら離陸すると、急激な加速度と共にオプシドリアの紺碧の空へと飛翔した。しかし機が対流圏に達するよりも早く、エイジマンはすでにコックピットへと向かった。ヘルメットを外してベルトに磁力吸着させる。通常人類であるクルーたちは彼を振り返ったが、その表情には不安が濃く、目には恐怖があった。

エイジマンは鋭く尋ねた。「何があった。すべてを話せ」

シグマーの御代

シグマーの力は、彼の世界を打ち砕くほどの槌に象徴されるように、渾沌（ケイオス）の末裔たちを打ち負かし、唸り声をあげる悪魔の王たちを虚無の空間に送り返してきた。数多くの戦いで勝利してきたが、勢力はゆるやかに衰え始めていた。〈空を焦がす戦い〉では、本当は苦境に立たされている彼の状況が明るみに出た。

何百もの国々が生き残るために渾沌（ケイオス）に寝返ったため、シグマーの怒りはこれまで以上に激しくなっていた。神格に即位しても、その怒りが落ち着くことはなく、それどころか以前の世界が破壊されたさまは自分が虐げられていることを目の当たりにする結果となった。彼は無心や戦略的洞察力ではなく、情

熱と怒りにまかせて戦っており、天空の宮廷にいながらも、まさに戦場の軍神の様相であった。しかし、1か所の戦場で勝利を確信しても、さらに多くの軍勢がやってきて敵の数がますます増えることとなった。シグマーの神々の同盟は、すでにその基盤に最初の亀裂が入っていた。時は、複数の領域にまたがる災いが近づいて最も暗黒の時代に至ることを示していたのだ。

硫酸で金属に刻まれた最初期のアキュシーの戦記には、シグマーのテトラーク・オヴ・ルインとの戦いについて詳しく記されている。アキュシーの炎を浴びたシグマーは、アンガラス、高貴なる者を打ち倒し、コーンの軍隊を壊滅させたと言われている。そして、彼はグレイト・アンクリン・ワンのフェキュ

ロクスの数メートル幅の不快な粘液の跡をグーランのシティー・オヴ・ブランチまで追って叩きのめした。変化の王キアサヌスは直接衝突を避け、シグマーを欺瞞の環で縛り付けたが、シグマーは鋼のような戦士の魂でその魔法を打ち破った。守護者ラクシャスの見事な誘惑すらも、シグマーの軽蔑の力には及ばなかった。

シグマーの弱点がわかったのは、選ばれし者アーケイオンだった。彼はこれまでの敗北の中に機を見出していた。成し遂げるのに数十年もかかったが、共通の大義のもとに悪魔の王たちを集結させ、渾沌の領域の主人たちを軍隊に加えた。アキュシーファイヤープレーンの〈空を焦がす戦い〉で、テトラークはシグマーと再び戦いで相まみえ、その時の悪魔の群れは大地を黒く染めるほどの規模だった。彼らに相対したのは、シグマーと火の心を持った国ベリコスの12の部族で、死を覚悟の上で渾沌の迫害者をせん滅しようと心に決めていた。彼らには、誓いに縛られたドゥアーディン、輝く鎧に身を包んだエルフ、戦いに飢えたオールドク、生ける屍の兵团までも同行していた。

ナガーシュ自身はいなかったが、彼の黒魔術軍の多くがシグマーの側についていた。ゴルカモルカは手をつけられないほど暴れており、向かってくる軍勢に強烈な一撃を見舞っていた。テクリスの燃え盛る光は数え切れないほどの敵を消し飛ばしたが、一番多くの敵を倒したのはいつも力強いシグマーだった。争いが激しくなると、神々、モンスター、定命の戦士たちは手にできるあらゆるものを使って戦った。それは夕暮れから夜明け、そしてまた夕暮れになるほど続いた。〈禍つ神々〉の栄光に向かって骸骨が山のように積み上がった。あまりに苛烈極まりない殺りくであったため、その後1年間は他の領域からアキュシーを見ると、燃える死した頭蓋骨だけが空に見えたそうだ。シグマーは7回攻撃を率い、



7回とも彼の同盟が渾沌の敵を撃退し、毎回戦果を上げた。幾度となくテトラークはガール・マラツの怒りを味わった。彼らには怪物のようなプライドがあり、団結して戦わないためだ。しかし、神王に挑もうとする者がまだ残っていた。

アーケイオンがシグマーと彼の側にいたヴァランガードの一団と争っていると、神王は雷の力でガール・マラツの槌を投げつけた。これが数世紀にわたって影響を及ぼす誤ちとなった。アーケイオンの幻術がシグマーにかかっており、彼が投げつけた先は敵ではなく、実際は悪魔の軍勢がアキュシーに投入される裂け目だったのだ。槌が虚無の空間に食い込むと空が裂けて轟き、シグマーの手から失われ、それとともに彼の勢いも失われた。槌を奪われたシグマーの勢力は衰退してしまった。可能な限り戦い続け、オールポイントまで食い下がったが、彼の軍はゆっくりと崩壊していった。

シグマーは〈天空の領域〉へ撤退を余儀なくされ、撤退するとアズイルの門を封鎖した。そうしたことで、彼は他の〈定命の諸領域〉を地獄に突き落とすこととなってしまった。その日、〈神々の時代〉の輝かしい伝説は、刃こぼれした剣を突きつけられた血なまぐさい歴史が変わったのだ。

神王は、撤退してからの血に濡れた数世紀を無駄に過ごしたわけではない。日夜、ただ一つの目的を抱えて過ごした。それは復讐だ。失ったものを取り戻すことが、シグマーにとって最優先となった。聖なる同盟の助けを借りて、歴史を覆す計画を実行に移した。

長い期間をかけて神王の荒れ狂う怒りが凝縮されていった。その感情はあまりにも強かったため、渾沌の暗黒の国々を打ちのめす力を持った精神エネルギーの嵐がアズイルに暗い積乱雲としてのしかかった。これが形になりさえすれば…。計り知れないほどの犠牲を払ってでも形にしたかったのだ。やがて、シグマーの煮えたぎる怒りは不思議な力として現れただけでなく、かつてないほど強力な生ける武器を生み出したのだ。

長いこと、シグマーは乱れたマラス

の核を深く見つめながら考え続けていた。彼は、これまでの人生で戦ってきた中で渾沌との戦いに勝てなかった苦い経験から悟った。神でさえも渾沌の支配を打ち砕けないのに、権力の象徴である武器を失ったものに勝ち目などない。こうして、シグマーは人類の戦士でもなければ戦争の申し子でもない。恐ろしい父親となったのだ。

もう神王が拳と槌で戦うことはないだろう。彼の選んだ武器は遺物ではなく新しい文明だ。アズイルの天空の主なのだ。他の軍とは違って最前線に立ち、一度に千回も戦うことができる存在。

ハイ・アズイルで、神王はシグマロンの宮廷から苦渋の気持ちで見捨てた者たちを見下ろした。街や国が渾沌の災厄の前に沈んでいくのを見るたびに、心に新たな傷を負った。しかし、人々の決死の戦いの中で、真の英雄の種を見出す。彼は災厄に際して死の間際まで渾沌と戦った数少ない英雄を、すさまじい速さで〈天空の領域〉まで連れてきた。シグマーにまだ借りがあると考えている偉大なる創造主グルングニの力を借りて、その勇敢な魂から新しい種族の超人が生み出された。彼らはともに奇跡の軍隊、〈定命の諸領域〉で今も戦っている優秀な人物の魂から鍛えた鎧の天使たちを作り上げたのだ。シグマーは、血に雷を宿し、渾沌との長きに及ぶ戦いで倒れてもエネルギーの高まりで蘇る英雄戦士の彼らをストームキャスト・エターナルと名付けた。彼らが倒れた場合には、死のたびに一瞬でアズイルに帰還して鍛え直され、自分たちの正体がゆっくりと永遠に蝕まれていくまで何度も戦場に送り出されることになる。

シグマーの嵐が晴れば、このような苦難もないだろう。これが真の希望なのだ。軍歌と最後の準備で一晩かけた後、来る報復の約束で空気が張りつめていた。長い待機が終わり、ストームキャスト・エターナルが解き放たれた。1つ目の稲妻の柱がシグマロンから〈定命の諸領域〉の血にまみれた大地へと放たれた。彼らに生まれたのはストームキャスト・エターナルの初めての兄弟愛だった。彼らは輝く天空のエネルギーの柱として渾沌の荒れ果てた大



地に突き刺さり、光のドームが消えていくと、魔法の金属シグマライトの鎧を身に装着してそびえ立つ肩幅の広い戦士が現れた。シグマーがかつて故郷と呼んでいたまさにその場所、かつて世界があった場所に。重く幅の広い剣とエネルギーをまとった槌が、角のある兜、ルーン文字が刻まれた胸当て、人間の皮で覆われた盾を叩き割っていった。思い出せる限りで初めて、渾沌の軍勢が恐怖を覚えた。

この空からやって来た新しい軍勢が、怒れる神が放った雷の槍のごとく、渾沌の使いを撃破していった。シグマーの渾沌の神々に対する復讐は時間はかかったが、ついに始まると時勢を打ち砕くような怒りで成し遂げられた。彼らは以前は自分たちの優位性を確信していたが、混乱の中で繰り返し送り出された。

数時間のうちに、暗い絶望の海に浮かぶ金色に輝く島のように百か所もの拠点地上に形成された。それらは単に希望の一点に過ぎず、渾沌に従う者たちが結集して闘争心むき出しの咆哮とともに戦いになると、そのうちの多くが巻き込まれることとなった。しかし、その他は、新しい文明にとって領域を拡大していく最初の要所となり、残った人類に反撃する希望を与えている。そして彼らの後ろに控える神々の力もあり、勝利も見えてきたはずだ。

友人と一緒に

ウォーハンマー・ホビーが最も輝くのは、友人と楽しむことができるときだろう。

ウォーハンマーについてまだ何も知らない友人と一緒に、ウォーハンマーストアに行ってみよう。そしてストアスタッフと一緒に、集めたり、組み立てたり、ペイントしたり、プレイしたり、さらに本を読んだりして、ウォーハンマーの世界を旅しよう。

追加特典として、以下の5つのアクティビティをそれぞれ達成することで、追加スタンプを友人と一緒に手に入れることができる。さらに、5つアクティビティをすべて達成したときには、ボーナススタンプを1つ獲得することができるぞ！



一緒に集めよう

友人が選ぶ初めてのミニチュア、何が好きなのか一緒に考えてあげよう。



一緒に組み立てよう

友人と一緒に、今月イチオシのミニチュアまたは初心者向けのミニチュアを組み立ててみよう。



一緒にペイントしよう

友人と一緒にウォーハンマーストアに行き、初心者向けのペイントを行なってみよう。



一緒に遊んでみよう

お近くの店舗で友人と一緒にゲームをプレイしよう。



一緒に読んでみよう

友人が選ぶ初めてのコーデックス、バトルーム、ブラックライブラリーについてアドバイスしてあげよう。



歴戦の同志

他の5つのアクティビティをすべて、友人と一緒に達成しよう。



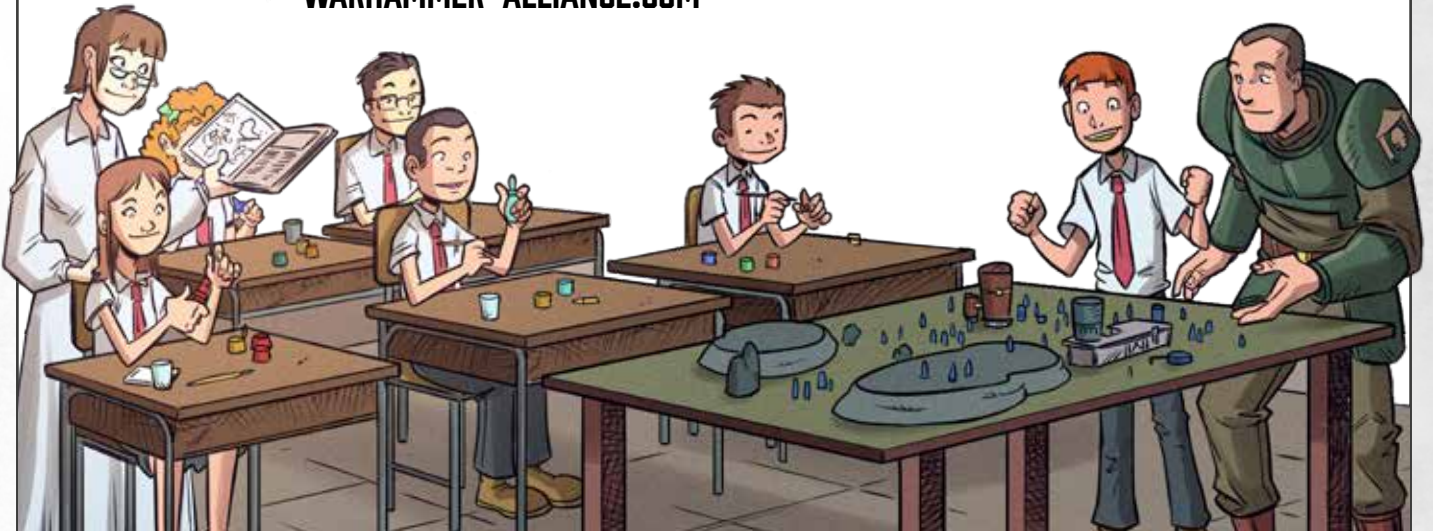
ウォーハンマー・アライアンス

『ウォーハンマー・アライアンス』はウォーハンマー・ホビーによる教育支援プログラムだ。

ゲームワークショップによる豊富な無料サポートにより、生徒たちは楽しく、創造的で、社交性に優れたホビーを学習に役立てることができる。
詳細については、ストアスタッフに問い合わせるか、次のサイトをチェックしてほしい：



WARHAMMER-ALLIANCE.COM



コレクタブルコイン

お近くの店舗では毎月、テーマ別のコレクタブルコインが用意されている。

コインのコレクションを始めたい場合は、ぜひお店に問い合わせよう！

今月イチオシのミニチュア

毎月、新しいミニチュアを通じてかつてない体験をしてみよう。

ウォーハンマーストアでは、テーマ別のミニチュアを提供している。在庫限りなので注意が必要だ。



WARHAMMER.COM

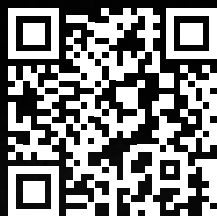




ウォーハンマーの旅を始めよう

本冊子を通じてウォーハンマーの五大要素に触れることで、君は集めたり、作ったり、塗ったり、読んだり、遊んだりするスキルが大きく前進するだろう。ウォーハンマーホビーには、君が求めている輝きがきっとあるはずだ。

詳しくは、ストアスタッフに聞いてみよう。



BATTLEHONOURS.WARHAMMER.COM



144499998926

14449999892



Games Workshop Limited,
Willow Road, Nottingham,
NG7 2WS, UK

